

# 金峰・吹上浜砂の祭典

委 員 〇 九 九 三 ( 五 三 )  
2 1 1 1。(清水裕貴)

## 来月開幕へ制作開始

南さつま市金峰町高橋の砂丘の杜きんぽうで5月3日開幕する「2018吹上浜砂の祭典」(同実行委員会、南日本新聞社など主催)の砂像制作開始式が16日、会場であった。関係者ら50人が31回目の本番へ、本格的な制作に取りかかった。

砂像テーマは「ジュラシックファンタジー」で進化の足音、どんとんどんとん。企業や市職員、小中学生、熊本市の崇城大学生らが約100基を造る。海外招待作家は明治維新150年を記念した作品を手掛ける。建築士会南さつま市分会は会員約50人が交代で担当し、「トリケラトプスと恐竜誕生」の完成を目指す。山村尚幹さん(33)

は「迫力や立体感を表現するのは難しいが、注目される砂像を造りたい」と意気込んだ。会期は5月27日まで(7日休園)。3〜6日のゴールデンステイジは大人千円(前売り700円)、小中学生500円(同400円)。8日からのセカンドステイジは当日のみで大人500円、小中学生300円。実行



恐竜の砂像を造る建築士会のメンバー  
—16日、南さつま市金峰町高橋